

参考資料 (フォーラム資料)

サッカーを通じた地域貢献・指導者養成

埼玉県立浦和東高等学校

【浦和東高校 サッカー部】

○概要

- ・部員数 250名
- ・「ここから日本一になる」ための3つのアイデンティティとして
 - ①準備する力を養う ②人として大切なことを忘れない ③強いサッカー部・愛されるサッカー部を掲げ、日々活動している。
- ・今年度の実績：関東大会出場、選手権・インターハイ埼玉県予選大会出場
- ・Aチームは県リーグS2リーグ、Bチームは南部支部S1リーグ所属
- ・OBに川島永嗣選手をはじめとするプロサッカー選手を輩出

○サッカー部の活動以外に（250名の部員全員が輝ける場所を）

- ・サッカー日本代表戦、高門宮杯チャンピオンズシップ、楽天カップ、ルパンカップ、Jリーグのボールボーイ等役員活動、
- ・特別支援学校とのサッカー交流
- ・グローバルアスリート(川島選手が代表を務める、サッカーを通じて生きた英語を学ぶ英語スクール)のボランティア
- ・使わなくなったボール、スパイク等、サッカー用具を外国へ支援
- ・審判活動(ユース審判)
- ・スタディグループ(週3回の活動の時間を校内での勉強とすることにして、難関大学の一般受験を目指す)

【浦和東高校スクール班、年間での取り組み】

- 12月 新チーム結成と共に埼玉スタジアムサッカースクール(以降、埼スタスクール)アシスタントコーチのレギュラーメンバー決定、現2年生20名が参加
- 1月 昨年のメンバーと共に2週間程度研修期間を設け、その後通常レギュラーメンバーとして活動(1日4時間、週1回、年間40回、各曜日に振り分ける)
- 7月 キッズリーダー講習会受講
埼玉スタジアム Presents サッカー講座アシスタントコーチ参加
- 10月 埼玉スタジアムフェスタ、ボランティア参加(会場設営、受付、審判、参加チーム付きでのサポート等)
- 11月 美園交流会参加メンバー決定、トレーニング案を作る
- 12月 美園交流会

○埼玉スタジアムサッカースクールについて

下記の内容をサッカースクールの方に来校していただき、次年度スクール希望者に話してもらっています。

・概要

主催：埼玉スタジアム2002公園(公益財団法人 埼玉県緑地協会)
運営委託者：スポーツマネジメント株式会社(現場責任者、スクールマスターはスポーツマネジメントの社員が行っている)
校長：福田 正博(解説者、元日本代表、元浦和レッズ選手・コーチ、Jリーグで日本人初の得点王、ミスターレッズ)

主な業務：①スクールの備品の準備 ②スクール生への見本 ③元気な声でスクール生に声をかける
スクール現場で得られる経験値：

- ①サッカーができる喜びを客観的に感じれる
- ②サッカーの基本プレーが確認できる
- ③人に物事を伝える難しさ、大切さ、素晴らしさを体験できる

主なスケジュール：

- 15:45 埼玉到着 スクールウェアに着替える
- 15:50 スタッフより、本日の備品配置場所の説明
- 16:00 準備開始 (主にゴール設置)
- 16:25 備品設置完了 担当クラスへ移動
- 16:30 スクール開始 2部の時間帯(キッズ60分・その他80分)
- 17:50 2部終了 スクールの備品配置変更
- 18:00 3部開始 全クラス80分
- 19:20 3部終了 スクールの備品配置変更
- 19:40 備品移動完了後、控室(クラブハウス)に移動し、振り返りシートの記入
- 20:00 全業務終了 帰宅

活動の様子(※写真は埼玉スタジアムサッカースクールより)



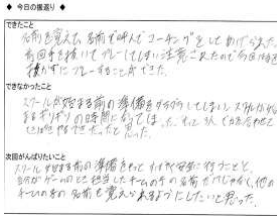
○レギュラースクール以外の埼スタスクールイベントボランティアについて

通常のスクール以外にも様々な活動に参加しています。

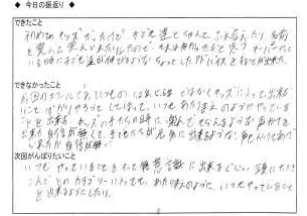


K君

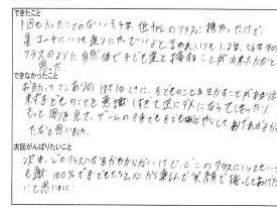
2月



6月



8月

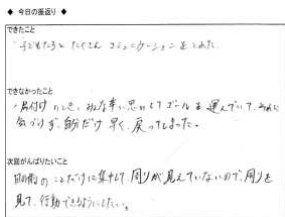


○振り返りシート

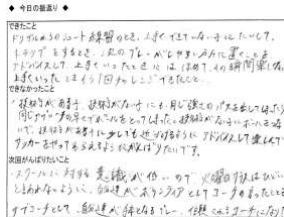
スクールの活動後、シートを使って振り返りを行っています。

・S君

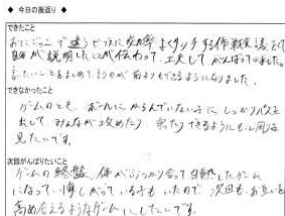
2月



3月



5月



年間の活動を通して、自分の考えていることが明確になり、その考えを言葉にして伝えられることで、自分の行動が改善できるようなサイクルになりました。

○JFA 公認キッズリーダー養成講座について

埼玉県サッカー協会、JFA 公認キッズリーダー養成インストラクターの浅見さんをお招きし、キッズリーダー講習会を行いました。座学での講義を2時間、実技の2時間の中から、U-10年代の子どもたちに対する指導について勉強しました。



【美園コミュニティセンターとの交流会当日】

○トレーニング案

U-8

2020：美園コミュニティセンター浦和東高校サッカー部との交流会【指導案】		15組30名
実施日	2019/12/14【土】1,2年生(U-8)	13:30-14:30
担当生徒	栗山、坂田、次原、鈴木(計)	
挨拶	コーチの自己紹介・目的(5分)	
W-U.P	鬼ごっこ(10分)	
【オーガナイズ】	・手づな準備 ・高校生も入って行う(鬼も逃げるのも共に) ・全員揃ったら、時間(1分から1分半)で1セット ・各セットの合間は1から2分レスト	
準備より早くくなくできたら2人にする	①ドリブル→シュート(10分)	
【オーガナイズ】	・5コース作る ・アシスタントのコーチが周りでボール抱いと声掛け	
準備屋にゴールするのならOKをつける(高校生)	②ドリブル→シュート(10分)	
【オーガナイズ】		
Game	5vs5(30分)	
【オーガナイズ】	・5分×6試合(子3チーム、大人3チーム)	
挨拶	まとめ・挨拶	

U10

2020：美園コミュニティセンター浦和東高校サッカー部との交流会【指導案】		15組30名
実施日	2019/12/14【土】1,2年生(U-10)	15:00-16:30
担当生徒	栗山、坂田、相田、鈴木(計)	
挨拶	コーチの自己紹介・目的(5分)	
W-U.P	鬼ごっこ(12分)	
【オーガナイズ】	・鬼は子4、コーチが ・高校生も入って行う(鬼も逃げるのも共に) ・全員揃ったら、時間(1分から1分半)で1セット ・各セットの合間は1から2分レスト	
準備より早くくなくできたら1は前の1にプラスする	①ドリブル→シュート(15分)	
【オーガナイズ】	・親子で2人組 ・①ボール投げ→キャッチ ・(ボールが浮いている間に頭、胸、もも、手を叩く) ・②対面パス ・③間にボールを置いて1vs1 ・④コーチの合図でボールを取りに行く ・⑤コインを置いてドリブル	
準備より早くくなくできたらドリブル→シュート(15分)	①ドリブル→シュート(15分)	
【オーガナイズ】	・アシスタントのコーチが周りでボール抱いと声掛け ・アシスタントのコーチが周りでボール抱いと声掛け ・できたらスピードを上げるよう声掛け	
準備屋にゴールするのならOKをつける(高校生)		
Game	5vs5(40分)	
【オーガナイズ】	・7分×6試合(子3チーム、大人3チーム)	
挨拶	まとめ・挨拶(5分)	

1年間のスクールの経験から生徒が考えたトレーニングです！！

○活動の様子

当日は2年生9名、1年生4名の計13名が活動を行いました。

<挨拶>



<鬼ごっこ>



<ドリブル>



○生徒の感想

○君 昨年度も参加しましたが、昨年度はスクールも経験していなかったため、先輩方のやっていることについていだけで精一杯でした。子どもたちに対してもどう声掛けしたいか、どう接したらいいのか全く分からないまま、あっという間に終わってしまいました。しかし、今年度スクール活動や、キッズリーダー講習会を受けたことで、うまくコミュニケーションを取りながら練習を進めることができました。自分たちで練習メニューを作り、それを進めていくことの充実感、達成感を得られました。将来、サッカーの指導に関わりたくと考えているのでこの経験を財産に今後の部活動も前向きに頑張っていきたいです。

T君 僕は中学時代まで埼玉スタジアムサッカースクールのスクール生でした。中学時代、浦和東高校の先輩方がスクールのアシスタントコーチとして優しく接して下さったことがきっかけで浦和東サッカー部に入りました。現在、僕もスクールのアシスタントコーチとして子どもたちに関われることで、子どもたちにも同じように経験をしてもらえたらと思っています。今回の交流会もそんな思いで活動しました。自分たちで練習を考え、当日の流れを進めていくことは大変でしたが、貴重な体験ができました。また来年度もスクール活動も含め関わっていきたいと思います。

【まとめ】

○課題を把握するために

- ・毎年コミュニティセンターが実施し、統計していただいているアンケートをもとに振り返りを行う。
- ・生徒自身の主観だけでなく、周囲の方々の客観的な目も材料にして考える。

○解決する課題の設定

- ・この行事のあり方を学校・コミュニティセンター・受講した親子のニーズと違う視点から考える。
- ・毎年メンバーが違う中、同じ課題にならないようにする。

○地域との連携

- ・この取り組みは、地域の市報(緑区)にも取り上げていただいている。より参加者を増やす手段として、生徒が交流会に向けて、コミュニティセンター側と積極的に連携をとって宣伝を行ったりすることもあれば地域の方々もより協力してくれるのではないかと。

○活動その後

- ・埼玉スタジアムスクールコーチ、キッズリーダー講習会、美園交流会等、現在スクール班が行っている活動はどうしても環境が提供された上での活動となっている。新チーム発足と同時に新しいスクール班が結成され、活動を行うので、余裕がない現状があり、だんだんと慣れてきたタイミングで活動が終了してしまう。次年度に少しでも多くの経験者が残ることで、より生徒が主体的にできる班としたい。

志木高倶楽部プロジェクト



埼玉県立志木高等学校



志木高校のマスコットキャラクター
ごちゃん

現状と課題

学校の現状と課題

- 開かれた学校づくりを推進し、地域行事への参加や地域貢献活動を積極的におこなっているが、地域の取組みに本校が協力することに乏しい。
- 生徒の自己有用感を高めるために、参加・参画の経験や体験を積み重ね、自信につなげる機会が必要である。
- 平成34年度入学生から実施される新教育課程においてカリキュラム・マネジメントにより開かれた教育課程を実現するためには、地域と教育目標を共有し、地域の人的・物的資源等を効果的に活用する必要がある。

地域の現状・地域の期待

- 市民団体「宗岡りんくす」と志木高校、市内小中学校、志木市陸上競技連盟が連携し、スポーツを嫌いにさせない事業を実施したい。
- 地域に長く居住していても、本校に一度も入ったことのない方も多く、もっと志木高校を身近な存在にしたい。
- 登下校で顔合わせる機会もある本校生徒と顔見知りになりたい。
- 地域のイベント等を高校生の力で盛り上げ、質を向上させたい。

これからの教育課程の理念

よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と学校が連携・協働しながら、未来の創りてとなるために必要な資質・能力を育む「開かれた教育課程」の実現
カリキュラム・マネジメントの側面
教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる

テーマ設定

『志木高倶楽部プロジェクト』

本校を中心とした地域交流の輪を広げ

学校のWIN

- ・地域に開かれた教育課程の実現
- ・生徒の自己有用感UP



地域のWIN

- ・志木高校が身近になる
- ・志木高校の教育力を地域で活用

子供向けスポーツプログラムやサマースクールを実施

志木高校

対象
全校生徒 823名

宗岡りんくす

宗岡中学校

東洋大学

西武ライオンズ

忍たま大集合！志木高校で修行だよ

運動は少し「苦手」を「好き」に変える子6回の子供向けスポーツプログラム

忍たま大集合① ～走る・投げる・跳ぶ～



【ごちゃん×忍たま大集合！】プログラムの企画を進める中で、本校のマスコットキャラクターごちゃんの忍たまバージョンを作ろう！というアイデアが生まれました。本校の美術部の協力により「ごちゃん」が忍者に変身し「忍たま大集合！志木高校で修行だよ」の参加者募集で大活躍しました。



修行の約束

【参加者デザイン】イラストコミック部

修行を終えた参加者に、オリジナル缶バッジをプレゼントすることになりイラストコミック部がデザインを担当しました。



修行その1～走る～



修行その2～投げる～



修行その3～跳ぶ～



【参加生徒感想】

3年生 茂木 映美利

地域の方や子供と関わる経験がなかったので、このプログラムを通して人の関わり方を学ぶことができました。大学入試の面接で、この経験を話したところ、学校と地域の取組みにとても興味を持っていただきました。何よりも、経験が自信につながったと思います。



修行その3～跳ぶ～

忍たま大集合2 ～リズムダンス・サッカー～

サッカー系修行 ホールを見ながら身体を動かす



サッカー系の修行は、宗岡りんくすのひろコーチが担当。本校の生徒が修行をサポートしました。



修行の最後はもちろんゲーム。いつの間にかボールが増え忍たまらしいサッカー系修行となりました。

『志木高倶楽部プロジェクト』概要

埼玉県立志木高等学校

概要

市民団体「宗岡りんくす」や東洋大学等と連携。子供向けスポーツプログラムやサマースクールを実施し本校を中心とした地域交流の輪を広げ、地域に開かれた教育課程を実現

忍たま大集合！志木高校で修行だよ 全6回

- 主催 志木高校 宗岡りんくす 東洋大学 西武ライオンズ 宗中おやし仲間倶楽部
- 参加生徒 陸上部生徒 有志参加生徒 写真部生徒
- プログラムの概要 運動「苦手」を好きに変える子供向けスポーツプログラム



プロジェクト計画

- 忍たま大集合①
- 忍たま大集合②
- 忍たま大集合③
- 忍たま大集合④
- 忍たま大集合⑤
- 忍たま大集合⑥

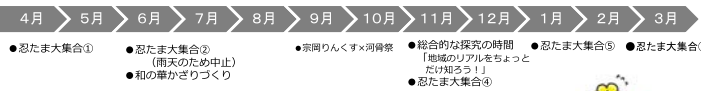
クラフト教室

- 主催 宗岡りんくす
- 協力 志木高校
- 参加生徒 生徒会呼びかけによる有志生徒
- プログラムの概要 地域の子供向けクラフト教室で本校の生徒が参加した子供たちをサポート



サマースクール

- 主催 志木高校 宗岡りんくす
- 参加生徒 写真部生徒 書道部生徒
- プログラムの概要 本校の生徒が宗岡りんくすとの共催により、写真教室、書道教室を実施



広がる交流の輪

文化祭での出店・三種競技大会

- 会場 志木高校
- 参加者 宗岡りんくす等地域のの方々
- 地域の概要 本校を会場とした地域交流。9月の河骨祭（本校文化祭）に宗岡りんくすが出店。また、地域のスポーツ大会を開催。



総合的な探究の時間

地域のリアルをちょっとだけ知ろう

- 協力 宗岡りんくす、志木市社会福祉協議会他
- 参加生徒 1学年 279名
- 授業の概要 宗岡りんくすのコーディネートにより、1年生の「総合的な探究の時間」において地域で活躍する方20名を講師に迎え授業を実施。



英語で列スラムパーティー

本校の教育力の発揮

- 主催 志木高校
- 協力 宗岡りんくす
- 参加生徒 語学研修に参加した生徒等
- プログラムの概要 本校の英語科と語学研修に参加した生徒が中心となって企画運営し、地域の子供向け英語プログラムを実施



リズム系修行 見てまねて音楽にあわせて身体を動かす



【参加者保護者の感想】
このような企画があれば是非参加したいです。スポーツが苦手な息子にとってもうってつけだと感じています。
・色々なイベントがあって毎回楽しく参加しています。スタッフの方もとても親切で安心します。
・市内に35年以上住んでいるが初めて志木高校に行きました。高校のグラウンドの広さ、お兄さんお姉さんとも交流し子どもたちにとって新しい経験となった。



【生徒の様子】
この日は宗中中学区おやし仲間クラブによるかき氷の配布がおこなわれました。陸上部の生徒もかき氷づくりを手伝いました。最後のスタッフ打ち合わせで、「暑かったので、皆さんに喜んでいただけて、うれしかったです」と感想を話していました。

忍たま大集合③ ～走る・投げる・跳ぶ～



修行その1～走る～



修行その2～投げる～



修行その3～跳ぶ～

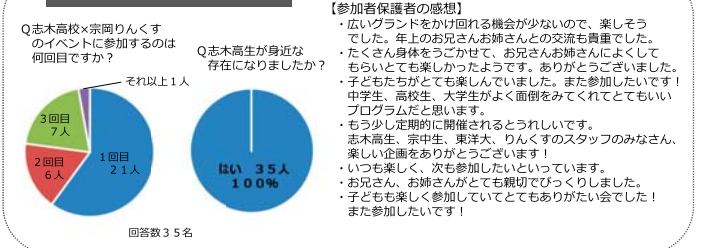


ミニ運動会



今回の「投げる」修行はお隣の宗岡中学校野球部の皆さんが担当してくれました！

【忍たま3】参加者アンケート結果



【参加者保護者の感想】
広いグラウンドをかけ回れる機会が少ないので、楽しかったです。年上のお兄さんお姉さんとの交流も貴重でした。
・たくさん身体を動かさせて、お兄さんお姉さんによくてもらいとても楽しかったです。ありがとうございました。子どもたちがとても楽しんでいました。また参加したいです！中学生、高校生、大学生がよく面倒をみてくれてとてもいいプログラムだと思います。
・もう少し定期的に開催されるとうれしいです。志木高生、宗中生、東洋大、りんくすのスタッフのみなさん、楽しい企画をありがとうございます！
・いつも楽しく、次回参加したいと思っています。お兄さん、お姉さんがとても親切でびっくりしました。子どもも楽しく参加してとてもありがたかったです！また参加したいです！

志木高校でクラフト教室

地域の子供向けクラフト教室を本校で実施。生徒が 参加した子供たちをサポート



【参加生徒の様子】
 生徒会の呼びかけで、将来保育系の進路を考えている生徒が多く参加しました。子供たちがお母さんのために一生懸命メッセージを考える姿に感動していました。
 子供と接する経験が増えたことで、進路を具体的に考える機会にもなった様です。

サマースクール

本校の生徒が宗岡りんくすとの共催により、 写真教室、書道教室を実施



【参加生徒感想】
 3年生 村川 玲奈
 普段接する機会のない子供たちと交流することができて、とても楽しかったです。子供たちに教えることを通して自分も書道の基本を確認する機会になりました。

【参加生徒感想】
 1年生 樋口 和男
 思いがけない被写体を想像力を働かせて撮影する子供たちの発想力は、自分には絶対できないことなのでよい刺激を受けました。
 このプログラムがきっかけになり、今宗岡りんくすの活動を紹介するビデオ作成に協力しています。こうした学校と地域のつながりをこれからも大切にしたいと思います。



【写真撮影】 志木高校写真部



本校の文化祭「河骨祭」に宗岡りんくすが出店しました。りんくすの子供達は各教室を回って移動販売をしながら本校生徒と交流しました。

地域の方に立ち寄っていただき、地域同士の交流も深まりました。

総合的な探究の時間×宗岡りんくす

宗岡りんくすのコーディネートにより、1年生の「総合的な探究の時間」において地域で活躍する方20名を講師に迎え授業を実施。

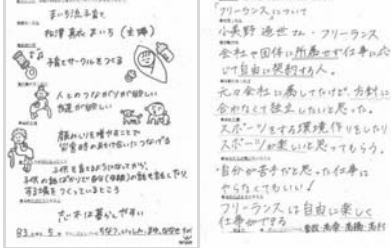


【授業の計画】
 地域の方を講師に迎え、「身近な地域社会の課題を探究する授業」を実施したいと宗岡りんくすさんに相談したところ、先ずはどのような授業なのか見てみたいということで、10月7日(月)の総合的な探究の時間(1年生)の授業に参加していただくことになりました。
 相談の結果、「地域のリアルをちょっとだけ知ろう」のテーマで地域で活躍されている方に講師として、活動内容をお話していただくことになりました。

地域で活動する講師の方20名



【生徒のまとめ】
 各グループで講師から学んだ「地域のリアル」をまとめ発表しました。



【各講師からお話いただいたテーマの例】

- ・ボランティア活動
- ・外国人のひととの共生
- ・シニアの健康増進
- ・志木市議会議員として
- ・地元でフリーランス
- ・災害時の活動
- ・特別支援学級の実践
- ・高齢者の居場所づくり
- ・NPOネットワークづくり
- ・学習・子ども教室
- ・子育てサークルの運営
- ・包括支援・多世代共生
- ・民生委員・児童委員の活動
- ・子ども会の活動
- ・不登校児童・生徒支援
- ・障がい者の就労支援
- ・マンションのコミュニティ活動

【授業後の地域での変化】

- ・授業を受けた生徒と地域の飲食店で会った時、元氣よく挨拶をしてくれた。話をしている時は聞いてくれているのか心配だったが、きちんと聞いていたと実感できてうれしかった。
- ・志木市福祉センターでの活動を紹介したところ、授業を受けた生徒が、放課後訪ねてくれた。

英語でクリスマスパーティー

本校の英語科と語学研修に参加した生徒が中心となって企画運営し、地域の子供向け英語プログラムを実施

志木高校の生徒と一緒に英語で楽しく遊ぼう！
英語でクリスマスパーティー

参加費 300円 (材料費込) (志木市立第1-1-1)

日程 12月15日(日) 10:00~12:00
 会場 埼玉道志本高等学校 (志木市立第1-1-1)

対象 志木市在住の小学生と中学生(1人まで)
 参加できる本校生 30名 (申込順)

申込先 宗岡りんくす 事務局 (QRコードにも掲載ください)
 申込先 志木市立第1-1-1 (QRコードにも掲載ください)

申込先 志木市立第1-1-1 (QRコードにも掲載ください)

申込先 志木市立第1-1-1 (QRコードにも掲載ください)



【本校が企画したプログラム】
 本校の英語科を中心に、地域の子供向け英語プログラムを計画しました。参加者の募集やチラシの作成に御協力いただき、当日も運営にご協力いただきました。

グループのリーダーとして子供達に頼られ、感謝される経験は、生徒達の自信につながりました。